

巨大地図の贅沢

村越 真



7:40 から 20 分間の作戦タイム。巨大地図や 1:25000 を駆使しながら戦略を考える参加者。

アウトドア愛好者のための読図講習会、地元マウンテンバイクショップの協力による MTB 講習会をはじめ、夜は野外教育センターでのカーポパーティーなど、多彩な催しも行なわれ、アウトドア愛好者たちのよい交流の場となったようであった。

大会当日朝はあいにくの雨。スタートの 8 時には、かなり肌寒かったものの、10 時すぎには雨も上がり、時折青空ののぞく天気となった。参加者は上下 100cm、左右 50cm の巨大地図と A3 サイズの 1:25000 地図を使い分けながら、作手の自然の中を走り回った。



1400 余点の満点に対して 1300 点をとってトップに輝いた TEAM 阿蘭梨大安の柳下(左より二人目)ら男子組表彰。

2006年4月16日 愛知県岡崎市
三河高原メモリアルロゲイン大会

巨大地図出現！

南北 9km、東西 6km。その広大なエリアが O-map 化されている。WOC のために作られた地図を 1 枚に納めた巨大マップが WOC の時に販売された。この巨大マップを使って作手を縦横無尽に走り回ってみたい……。そんな思いから開催されたのが、今回の三河高原メモリアルロゲインであった。

分の初級者までがそろって楽しめるのが、ロゲインのいいところである。本格的なロゲインレースとしては、菅平以外では初めてとなった本大会は、男子、女子、シルバー(50 歳以上のメンバーを含む)、混合、3 時間、の 5 つの категорияで開催された(3 時間以外の制限時間は 6 時間)。



前日のカーポパーティーはアウトドアアスリートの交流の場となった。左はおなじみ高橋善徳、中央のこちら向きの女性は女性アドベンチャーレーサーのトップ桜井さん。



作手村の平地分水点でのエイドステーションは天気もよくなりピクニック気分。

ロゲインとは、簡単に言えばスコアオリエンテーリング。しかしその規模はこれまで多く行なわれていた 90 分ではなく、3 時間や 6 時間といった長時間が設定される。長時間だから、競技色の強いアスリートから、ピクニック気

アウトドアアスリートが集結

菅平でもそうだが、今回のロゲインでも、オリエンテーリング愛好者よりもむしろ、それ以外のアウトドアアスリート全般の参加を得た。マウンテンバイク系、ランナー系、登山系、アドベンチャーレース系、様々なアスリートたちが集まるイベントは、参加者数 170 人(60 組)ながら、オリエンテーリング大会とは趣の違ったにぎやかさに包まれた。

前日午後には、読図に自信のないア



アドベンチャースポーツの例にもれず、混合組上位にはトップ選手が集まり高いパフォーマンスを見せた。前列左女性が 2 位「さくら with たかし」の桜井さんら、その隣の女性は 1 位となった「東龍門」の平野さんら。いずれもアドベンチャーレース界のトップ選手だ。男性をはさんだ右の 3 位の「ランニング・ハイ!」の佐藤さんは、フルマラソンサブ 3 である。これら 3 チームは男子ダントツの柳下・安齋組を除くと、いずれも男子組 2 位よりも高得点を修めた。

(村越 真)